

¹⁸F-FDG PET 検査の自動投与装置における分注・投与精度の検討

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 RI 検査室では、FDG-PET 検査を受けられた患者さんを対象に放射性薬剤の投与精度に関する臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

FDG-PET 検査は放射性薬剤を体内に投与し画像化することで腫瘍の悪性度の評価や治療効果の判定に重要な画像検査となっています。

薬剤の投与にあたり自動投与装置を用いているため、その装置の投与の正確さの検証をします。

研究の方法

・対象となる方について

2021年10月1日から2022年6月30日までの間に、京都府立医科大学附属病院でPET検査を受けられた方。

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2024年12月31日

・方法

当院でFDG-PET検査を受けられた方で、以下の情報を取得します。検査前に測定した患者さんの体重と放射性薬剤の投与量の検討を行います。

・研究に用いる試料・情報について

検査前に測定した患者さんの体重と放射性薬剤の投与データ

・個人情報の取り扱いについて

研究の成果を発表する場合に患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究担当者（京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 技師 近藤 亮太郎）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

この研究のために使用した情報は結果を発表した後、京都府立医科大学附属病院医療技

術部放射線技術課 技師 近藤 亮太郎の下、研究終了報告日から 5 年又は研究結果の最終公表日から 3 年又は論文等の発表から 10 年のいずれか遅い日まで保管し、適切に廃棄します。保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たに研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 技師 近藤 亮太郎

共同研究者

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 副技師長 新居 健

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 主任技師 堂本 宏志

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課

技師 近藤 亮太郎（こんどう りょうたろう）

電話 RI 検査室 075-251-5628（平日 9時～17時）